

IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクールについて

日本原子力産業協会 片山 雅弘

国際原子力機関（IAEA）は将来原子力を計画、運営、管理するリーダとなる人材の育成を目的とした原子力エネルギーマネジメントスクールを 2010 年より開催している。日本原子力研究開発機構（JAEA）、東京大学、日本原子力産業協会（JAIF）は、わが国の若手人材の国際化、新規原子力導入国等への人材育成への寄与および IAEA との協力関係を促進する事を目的とし、かつ我が国を原子力人材育成の中核とすべく 2012 年 6 月にスクールを茨城県東海村で開催した。スクールでは IAEA の専門家が主な講師を務めたが、日本開催の特徴を生かすべく多くの日本人専門家の協力を得て、わが国の原子力の状況、経験の紹介等独自性のある講義も数々提供した。その他、原子力関連重要テーマについてチームごとに国境を越えた議論をしてグループの考えを披露するグループワークや、原子力施設の見学会が実施された。海外 13 カ国 21 名、日本 18 名の研修生は、講義やグループワーク、見学会の他にも 3 週間にわたり様々な形で交流を持ち、原子力に関する知識のみではなく、お互いを知り、参加者同士のネットワークを構築するに十分な機会を得て、楽しくもあり今後の人生に大いに役立つ 3 週間となった。関係者から今回のスクールは実りが多く成功であったとの声が多く聞かれ、これらを基に今年でも日本（東京、東海村）で実施されることが決定した。